

行政の窓

第44回全国育樹祭記念 2021森林・林業・環境機械展示実演会について

第44回全国育樹祭の記念行事として、令和3年10月10日（日）、11日（月）の2日間にわたり、苫小牧市にある日本最大の工業基地「苫小牧東部地域」の一面（12ha）において、「2021森林・林業・環境機械展示実演会（以下「機械展」）」を一般社団法人林業機械化協会と共催で開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が1年延期となりましたが、今回の機械展には、全国の林業機械メーカー等68社が参加し、最新林業機械などの展示や実演が行われました。



開会式でのテープカット

大・中規模ブースエリアでは、国内外の高性能林業機械、刈払機、林内作業車、木材破砕機、オガ粉製造機など、最新の森林・林業・環境機械が展示され、迫力のあるデモンストレーションが行われるとともに、小規模ブースエリアでは、チェーンソー防護パンツなどの安全衛生装備用品や、ICT関連のソフトウェアなどが展示されました。

また、メインステージでは、『林業経営力向上セミナー』や『林業のスマート化フォーラム』をYoutubeでLive配信しながら開催するとともに、一般社団法人北海道林業機械化協会が運営する「北海道ブース」ではハーベスタ・フォワーダ、UAV（ドローン）、丸太写真検知ソフトなど各種機械・機器の展示や実演、先進技術や事例の紹介により、ICTでスマート化する北海道らしいスマート林業を紹介しました。

機械展の様子



林業経営力向上セミナー



北海道ブース



林業のスマート化フォーラム

開催期間中は、強風や雨が降るあいにくの天候となりましたが、林業関係者など、約3,000人の方々がご来場くださり、機械化の重要性やメリットを理解していただくとともに、最新の林業機械の魅力を感じていただけたものと思っております。

（水産林務部林務局林業木材課事業体育成係）